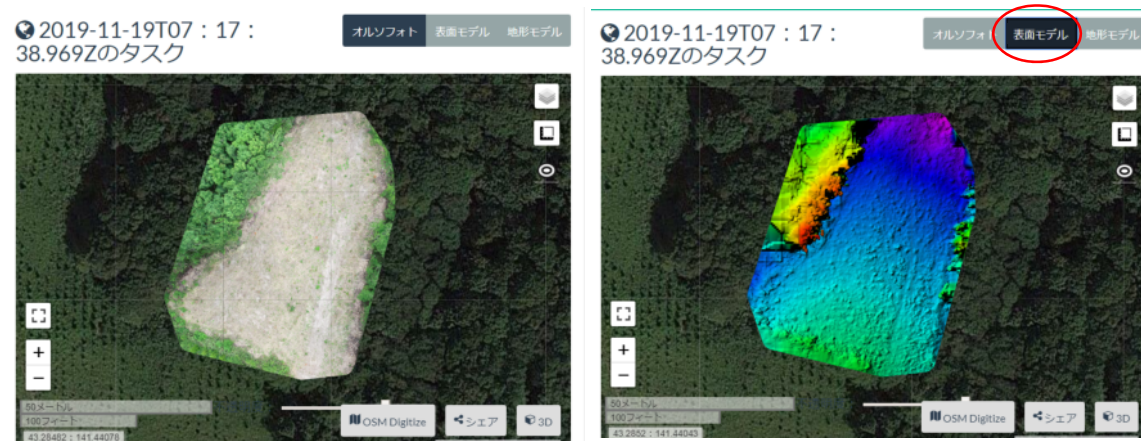


データをダウンロードするときは、「アセットをダウンロードする」より必要なデータを選択してダウンロードしてください（全てのデータをダウンロードする場合は、一番下の「すべての選択」をクリックしてください。オルソ、DEM、DSM、OBJなどまとめてzipファイルで出力されます。オルソやDEM、DSMはQGIS等のGISソフトで表示解析可能です。OBJ（オブジェクトファイル）は3D立体モデルです。別途3Dモデル表示ソフトで表示させることが可能です。
 ※参考：CloudCompareやMeshLabなどのフリーソフトが有名です。



「地図を見ます」をクリックすると、インターネットから下絵の衛星画像が表示され、その上にオルソ化された写真が張り付いて表示されます。表層モデルをクリックすることでDSMを色分けした画像が表示されます（オプションでDSM,DTMを作成していなければ表示されません）。



右下の「3D」をクリックすると、3D立体モデルの点群データが表示され、画面内をドラッグすることでモデルを動かすことが可能です。また、テクスチャモデルのモデル表示にチェックを付けることで、3D点群モデルからテクスチャー付きモデルの表示に切り替わります。



以上、WebODMのインストール方法と簡単な使用方法でした。